

議会運営委員会

【若林 志津子 委員長 コメント】

9月議会は、前議長逮捕という大変な状況の中での開会となりました。この間、副議長（現議長）による議長代行、議長・副議長の選挙、議会運営委員会副委員長の選出、市民からの信頼回復に向けた取組の検討など、通常より多くの議会運営委員会を開催してまいりました。

議会事務局も市民の皆様からのご意見やマスコミ対応など多忙な状況の中での業務が続きましたが、最終日には従来の日常が戻ってきました。

今後は議長が提案した政治倫理条例制定特別委員会の中で、（仮称）政治倫理条例の検討を行います。

また、議員補欠選挙によって新たな会派構成となったため、新たに議会改革提案を提出いただき、検討してまいります。

常に議会運営委員会において全員が発言できるよう議会運営に心がけ「議論の府」として市議会の、さらなる活性化を目指して取り組んでまいります。



総務文教委員会

政策課題

所管事務調査

●公立中学校制服選択制の導入について

●富士宮市内の中学校における制服の現状について

【齋藤 和文 委員長コメント】

政策課題である「公立中学校制服選択制の導入について」と、所管事務調査で「富士宮市内の中学校における制服の現状について」を行いました。

その中で教育委員会との間で、以下のような質疑応答がありました。

Q：制服の選択制の現状は？

A：市内公立中学校 8校で女子用スラックスの導入について検討が始まった。

Q：制服の決定については？

A：校長の判断に委ねられるが、選定や見直しは保護者等の学校関係者からの意見を聞いた上で決めていくことが望ましい。

Q：対面や非対面での制服に関する相談体制は？

A：普段から接している担任や養護教諭などが、相談しやすい信頼されている者になっているのが現状である。

等がありました。この政策課題を通して、防寒や動きやすさを求める制服の選択、ジェンダーレスへの配慮のための制服の選択などを、悩みのある中学生に対し叶えていけるのか、寄り添っていけるかを学び模索していこうと考えています。

